

『ブレインジムが引き出してくれた新しい私』

網中 陽子さん (神奈川県)

Q) 網中さんのブレインジムとの出会いは？

2015年から米国教育キネシオロジー財団のファカルティの一人である白木原雪乃さんから、キネシオロジーを中心としたさまざまなセラピーやヒーリングを学ぶ中で、「教育キネシオロジー」という分野があると教えていただいたのがきっかけです。当時友人のお子様の脳に重大な障害があるとわかり、失望している友人の相談にのるうちに、キネシオロジーを学んでいる私に何かできることがあるのではないかと、ブレインジムに可能性を感じ、気づいたら半年ほどでBGインストラクターの資格を取得していました。

Q) 現在はどんな活動をされているのでしょうか？

現在は神奈川県横浜市を中心に他のキネシオロジーやヒーリングの講座の開催、個人セッションを行う傍ら、ブレインジムインストラクター・コンサルタントとして活動しています。講座には教育・医療現場・スポーツ関係者や発達支援事業に携わる方々、お子さまの発達でお悩みのお母さま・生活支援を必要とされる方など、さまざまな方がご参加くださり、皆さんがブレインジムに興味を持ってくださること



▲網中陽子さん(中央)

に喜びを感じると同時に、現場での活用例、日常での変化などをフィードバックしていただくことで、私自身大きな学びを得ています。

Q) 将来の展望は？

今は受講生の皆さんが学ばれた後、いかにブレインジムの日常に楽しみながら活用していただけるか試行錯誤の日々ですが、これからもっと多くの経験と知識を身につけて、「発達支援・学習支援・生活支援」の仕事ライフワークとし、携わっていきたいと考えています。子どもから大人までたくさんの方にブレインジムの素晴らしさをお伝えして、無理に頑張るストレスから開放し、気軽に身体を動かしながら生きることの喜びを感じてもらいたいです。

Q) ブレインジムへの思いについてひとこと。

私自身幼少期から多くのストレスを感じ、自分が今何を考えているか、どんな感情なのか、どう感じているかに無自覚で、自分に本当の意味で意識を向けずに感情や体感覚が乏しい中で生きてきました。

その結果、心身のアンバランスをおこし、たくさんの疾患を抱えていましたが、まずは自分自身に意識を向け、「気づく」ことからバランス調整が起こることを実感しています。心身アンバランスで不調をたくさん抱えていた自分が、まさか人になにかをお伝えする仕事をするとは思っていませんでしたが、これからもブレインジムで「ストレスや問題」をあらたな課題がきた！と捉え、目標に向かってベストを尽くしていきたいと思います。

